

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
「アクティブ・ラーニング」	茨城県立並木中等教育学校	全日制普通科（中高一貫校）

ア 実施状況について

① 教育課程

（教育課程編成）

- ・本校は、開校9年目の中等教育学校である。各年次4クラス、計24クラスの学校である。
- ・本校では、昨年度より「アクティブ・ラーニング（AL）」を推進しており、今年度は、「ALセカンドステージ」に入っている。
- ・「イベント型」ではなく「通常授業型」を目指して取り組んでいる。
- ・「アクティブ・ラーニング」の目的は「アクティブラーナー（能動的学習者）」の育成である。

（授業展開）

- ・校長が平成28年3月に考案した「AL指数」を意識して授業が実施されている。「AL指数」とは、ALの実施率を示す指数で、50分授業でAL5分なら「AL10」、AL10分なら「AL20」となる。現在、校長は「AL20」を高校ALの理想としている。
- ・「ペアワーク」「グループワーク」だけでなく、ICTを活用するなど多彩なALが日常的に展開されている。

② 教員の指導力向上

（教員研修）（アクティブ・ラーニングに関する研修会）

- ・平成27年12月に「(株)学び」の寺裏誠司氏を講師としてAL教員研修会を実施した。
- ・平成28年4月と5月に校長が講師となってAL教員ミニ研修会を実施した。
- ・東京で開催されるAL関係の各種セミナーに参加するように勧めている（校長もよく行く）。

（外部人材の活用）

- ・平成28年5月11日（水）に「(株)アクティブラーニング」の得能絵理子氏を講師として招き、本校体育館で全校生徒向けのAL体験型講演会を実施した。

③ 校内組織

- ・校務分掌の1つである「学習進路部」にAL推進担当者がいる。
- ・毎月実施している「授業ちょっと見週間」で相互授業公開を実施している。
- ・各自年間1回以上は、「AL型授業」を事前通告して公開することになっている。

④ 施設設備

- ・全教室にパソコン・プロジェクター・スクリーン・Wi-Fi環境が整備されている。
- ・生徒用にiPad（60台）とWindowsタブレット（40台）がある。
- ・本年5月、全教室に「ALタイマー（SUZUKIスクールタイマー2）」を配備した。

⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法

- ・平成27年12月18日（金）にALの公開授業を実施した。
- ・平成28年11月11日（金）にALおよびICT活用の公開授業を実施する予定である。
- ・県内・県外・国外からの学校訪問の際にAL型授業も見学してもらっている。
- ・校長が各種研修会・セミナーでALについて講義・解説し、ALを広める努力をしている。
- ・学校HP上の校長通信「並木ドリーム」でALに関する情報も配信している。

⑥ その他

- ・平成28年5月、ALを学力向上につなげるために校長が「R80」を考案した。「R80」（読みはアールエイティーン）とは、授業の振り返りとして各自が80字以内の文章（2文を接続詞で結ぶ）を書くもので、思考力・表現力・論理力の向上を目指している。

イ 今後の課題

- ・ALが学力向上につながるということを立証していく必要がある。
- ・ALとICT活用の関係について探究していく必要がある。
- ・校長が考案した「AL指数」と「R80」について、全国に広める努力をする。